

No.14 心臓血管外科で扱う疾患について



豊見城中央病院
心臓血管外科部長
山内 昭彦 医師

「心臓手術、2週間で退院です。」

皆さん、これは我々が外来で心臓の手術を必要としている患者さんにお話する会話の一コマです。

心臓の手術が必要と医師から言われた患者さんは不安の塊となります。

＜患者さんの心理＞

- 1. 手術をするとどういった状態となるのか？
- 2. 手術の危険性は？
- 3. 手術による傷の大きさは？
- 4. 手術時間は？
- 5. 手術費用は？
- 6. **入院期間は？**



上記した内容はおおよそ患者さんが気にされる点ですが、我々はこのような全ての疑問や不安に外来でお答えするようにしています。その中でも上記した6番目の「入院期間」というのは大きな不安要素のひとつです。

そこで我々は患者さんに

「大丈夫、心臓の手術は術後2週間で退院可能です。」



とお伝えします。

表1は実際に我々が開設以来の2年間で治療した140名の患者さんの術後入院期間の推移を示したものです。年々、術後入院期間は短くなり現時点では13日となっております。これは病院全体として心臓外科治療を行うことがより安定し、洗練され、進化し続けていることを示しております。

表2は疾患別の術後入院期間です。冠動脈手術は全例「心拍動下冠動脈バイパス術」であり、昨年10月からは全症例が術場で手術直後に人工呼吸器をはずしICUに帰室するいままでよりも侵襲の少ない術後管理を行っております。

そのため同疾患は現在術後10-14日での自宅退院が主となっております。

表 1
心臓手術後の退院までの日数

2011年	2012年	2013年
23日	15日	13日

2011年5月から2013年5月までの連続140名の心臓外科手術を受けた患者さん

表 2
心臓手術後の退院までの日数（疾患別）

	2011年	2012年	2013年
冠動脈手術	16日	14日	13日
心臓弁手術	33日	15日	13日
胸部大動脈瘤手術	28日	23日	15日

表1および表2は、術後患者さんの一般的な経過を示したものです。手術当日は朝から手術が始まり、昼過ぎにはICUに帰室し夕方にはほとんどの患者さんが会話可能で、氷片を食べられる状態となります。手術翌日からリハビリが開始され患者さんに合わせたりハビリを行い術後10-14日の自宅退院を実現しております。心臓外科治療および患者さんを自宅退院まで導く我々の治療法は全国トップレベルです。



しかし、患者さんにとって手術というストレスを軽減する改善点はまだあると考え日々、診療にあたっております。患者さんからの相談、医療機関からの相談やご紹介にはいつでもお答え致します。

今後とも豊見城中央病院心臓血管外科をよろしくお願い致します。